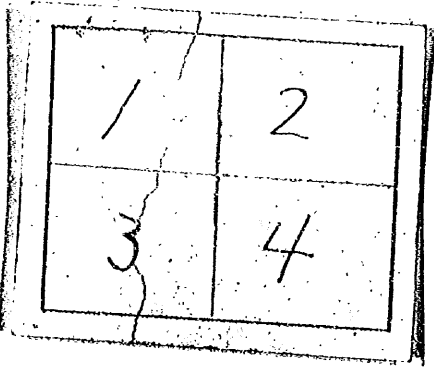


分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0309
0310
0311
0312

部隊原簿

部
隊
原
簿

部隊原簿

第九一市

部隊原簿

第九師團

九月十日受領

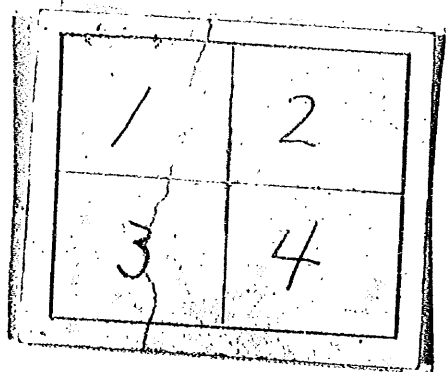
部隊原簿

第九一師團

九月十日交領

5HA

分割撮影ターゲット

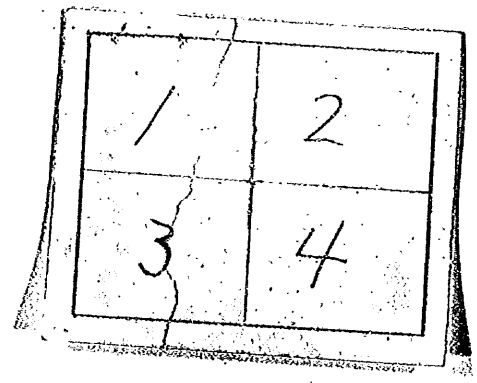
分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

二〇、一一、二五 第一大隊相原田坂武岡上庄
 技術八隊岡右衛門九一節原の
 二〇三公に隊原の十一月末
 日大治下二五〇名が移り
 二〇、一一、二五 第一大隊相原田坂武岡上庄
 技術八隊岡右衛門九一節原の
 二〇三公に隊原の十一月末
 日大治下二五〇名が移り
 二〇、一一、二五 第一大隊相原田坂武岡上庄
 技術八隊岡右衛門九一節原の
 二〇三公に隊原の十一月末
 日大治下二五〇名が移り

477名 (196編成)

部 隊 軍	部 器 兵	部 理 管	部 謀 参	部 官
中 少 中 尉 佐 佐 寺崎 加藤 青木鏡之助 裕之	大 少 兵 尉 佐 技 田中 福迫三尚雄	中 中 大 佐 尉 尉 山本 堀石 武藤秀三郎 一夫 恒雄 壽男	中 同 大 少 作 大 委 尉 尉 尉 尉 尉 尉 石原 長島 水津 山田 柳岡 (武司) 利八 原 端 秀雄 武	少 中 大 委 尉 尉 尉 尉 六 三 三 三 六 六 六 六
15	190	150	63	25
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
		同 右	同 右	
同 右	同 右	同 右	同 右	同 右

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0317
0318
0319
0320

第五方面軍第九一師團 部隊名第九一師團司令部(2) 通稱號先一二六四〇 郵便所名

全般概要		轉入	轉出	人員編	隊別	戰闘入	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より	入ソ人員	満洲残留	收容
		十九年以降	十九年以降		(内は先代を不示)	時員	平時	戦時		入ソ返の變動	隊別		收容
477名					隊長名								
電	送	理	醫	獸	別								
中尉 福垣 弘	同 同 少尉 戸谷 桂吉 同 小林 清 同 石原 清二 同 野口 孝一	少佐 田中 繁男 大尉 赤岩 功 同 土屋 博士 主中尉 中村 高橋			大尉 關 庄一 中尉 光谷 庄一		島 鏡 島 鏡	二〇、八、一八 「ソ」軍上陸戦闘指導七三旅團司令部(中 守島千歳島)に移動 二〇、八、一九 旅團司令部に歸る	同右	同右	同右	同右	同右
	250(含軍属)	30	7						直接戦斗に参加せず損耗なし日魯海軍の約 四〇名位の軍属あり	一名戦傷の病室に入院			
										從中以下司令部將校八〇 名(不確)は各地軍部將 校と合して將校大隊を編成 二〇、一一、二三 旅團出發「ウラジオ」方面 に送られる模様なり			

電	班	送	輪	部	理	經	部	隊	員	入	制	編								
報	電								別	除										
中尉 藤垣 弘				中尉 戸谷 桂吉 少尉 小林 清 同 石原清二郎 同 野口 孝一			少佐 田中 繁男 大尉 赤岩 功 同 土屋 博士 主中尉 中村 高橋 同	大尉 關 庄一 中尉 光谷	隊長 名 (内は先代を示す)											
			250 (含軍属)			30		7	時	戦	開	入								
右 同			右 同			右 同		島 筵 幌	駐	屯	地									
右 同			右 同			右 同		島 筵 幌	時	戦	時									
				直接戦斗に参加せず損耗なし日魯漁業の約 四〇名位の軍属あり			同 右	二〇、八、一八 「ソ」軍上陸戦斗始末七三旅團司令部(上 守島千歳局)に移駐 二〇、八、一九 樺原島柵原に歸る	戦	斗	間	の	状	況	及	損	耗			
				一名輕傷の病院に入院					終	戦	後	の	人	員	變	動				
同 右			同 右			同 右		提中將以下司令部將校八〇 名(不確)は各地區部隊將 校と合して善後大隊を編成 二〇、一、二二 樺原出雲「ウラジオ」方面 に至られる模様なり	作	業	大	隊	よ	り	入	ソ	迄	の	變	動
									除	別	計	入	ソ	入	員					
												滿	洲	殘	留					
									收	容	所	名								
									所	入	死	亡								
									滿	洲	よ	り	領							
									計											
									者											
									數											

部隊名第九一師團司令部(2) 通稱號先一二六四〇

郵便所名

477名

班 事 工	班 報 電	班 送 輸	部 理 經	務 運 環
長中尉 約300	長中尉 約300	中尉 福垣 弘 少尉 戸谷 桂吉 同 小林 清 同 石原 隆一郎 同 野口 孝一	少佐 田中 繁男 大尉 赤岩 功 同 土屋 博士 主中尉 中村 同 高橋	大尉 光谷 一
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
				同右
				同右
				同右
				同右

250 (含軍属)

30

7

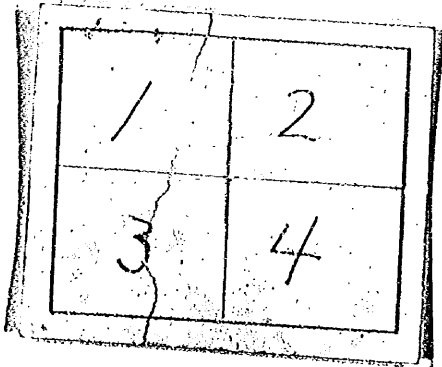
長中尉に参加せず現職なし日各派案の約
四〇名位の重慶あり

一名現職の病室に入院

班 導 工	班 藝 電	班 送 輪	部 理 經	務 算 録
長中尉	長中尉	中尉 藤垣 弘	少佐 田中 繁男 大尉 赤岩 孝 同 土屋 博士 主中尉 中村 高橋	六三 六二 六一
約300	約300	250 (含軍屬)	30	7
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
				三〇・六一 三〇・六一 三〇・六一 三〇・六一
				三〇・六一 三〇・六一 三〇・六一 三〇・六一

直接戦半に参加せず退却なし日香漁業の約
四〇名位の軍属あり
一名犠牲の病院に入院

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

第五方面軍第九一師團 部隊名第九一師團司令部 (3) 通稱號先一二六四〇 郵便所名

全般概要		轉入		轉出		員人制編	
447名							
隊別	隊長名	班	物	貨	務	法	隊
少尉 岩永 正	中尉 貴田	主大尉 北川留次郎	同少尉 額賀 小林 雄幸	同 宮田 股木 星野			第一特務隊
68	60	10	220				第二特務隊
右 同		右 同	島 筵 堤				
臺ノ北原柏	島 守 占 蔭 閣	右 同	上 同				
戰鬥間の状況及損耗		終戦後の人員變動		入「ソ」迄の變動		入「ソ」人員	
<p>戰鬥せず、貨物搬送に任ず 損耗なし</p>		<p>於柏原二〇、八、三四次戦</p>		<p>作業第二大隊貨物班半数編入 入隊部隊と合す、作業第二大隊貨物班四割編入、部下部隊と合す作業第三大隊貨物班一割編入せらる。</p>		<p>岩永正少尉將校大隊へ主力作業一七大隊に編入 (二師一八大隊)に 一〇、六、大泊經由尼瀋收容所に收容</p>	
		132				滿洲殘留	

隊名第九一師團司令部 (3) 通稱號先一二六四〇

郵便所名

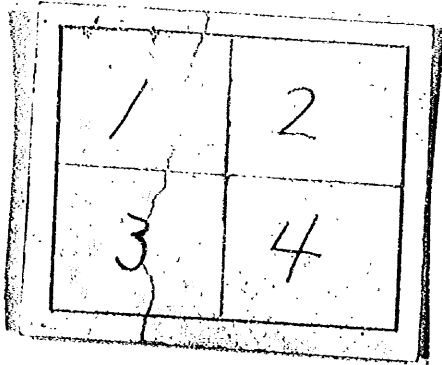
別隊	貨物	班	法務	第一特設監視隊	第二特設隊
隊長名 (内は先代を示す) 主大尉 北川留次郎 同少尉 額賀 同 小林 雄幸 同 宮田 同 股木 主大尉 星野	220	10	60	中尉 貴田	少尉 岩永 正
開入 戦時 駐屯地	島 筵 堤	右 同	右 同	占 蔭	右 同
戦闘間の状況及損耗	戦斗せず、 貨物搬送は任す、 損耗なし	右 同	右 同	占 蔭	右 同
終戦後の人員變動	於柏原二〇、八、二四至終				
作業大隊より入「ソ」迄の變動	作業第二大隊貨物班半數編入 入「ソ」迄の變動 大隊貨物班四割編入 隊と全作業第三大隊貨物班一割編入せらる	132	68	占守島永山(大平山)に收容 二〇、一二、三〇イマン地 區勢八二收容主力「ス」チ 「ヤ」ン」地區	岩永正少尉將校大隊へ主力 作業一七大隊に編入 (一部一八大隊)に 一〇、六、大泊經由尼港收 容所に收容
入「ソ」人員	隊別 計		68		
滿洲殘留					
收容所	收容所名 所入 死亡				
歸還人員	滿洲「ソ」領 より 計				
狀況不明者数					

447名

隊視監殊特三第	隊視監殊特二第	隊視監殊特一第	部 務 法	班 物 賃
少尉 森田 實	少尉 岩永 正	中尉 貴田		同少尉 額賀 雄幸 同 宮田 小次郎 同 股木 辰野 主大尉
60	68	60	10	220
右 同	右 同		右 同	島 筵 類
島守 占田 岬 端	臺ノ北原柏	島守 占田 間 隆	右 同	上 眞
二〇、八、二八 以後編より上陸より上陸せる「ソ」軍と交戦二名戦死				
古守島長永山(大平山)に 収容 二〇、一三、三〇 イマン地獄第八「収容 主力」メーチャン地獄	岩永正少尉將校大隊へ主力 作業一七大隊に編入 (一部一八大隊)に 一〇、六、大泊総由尾砲隊 容所に収容	古守島永山(大平山)に収容 二〇、一三、三〇イマン地 獄第八「収容主力」メーチャ ン「地獄		入道部員と合す、奇襲第二 大隊の戦況を把握し、入道部 隊と合す作戦第三大隊の戦 況を把握し、入道部員と合す 第一師團入道部員
58	68			182

隊視監殊特三第	隊視監殊特二第	隊視監殊特一第	部務法	班物
少尉 森田 實	少尉 岩永 正	中尉 貴田		同少尉 森田 實 同 宮田 茂 同 股木 尾野 主大尉 尾野
60	68	60	10	220
右 同	右 同		右 同	島 雄
島守 占 田 岬 端	臺ノ北原柏	島守 占 蔭 間	右 同	上
二〇、八、一八 島守より上陸より上陸せる「ナン」軍と交 戦二名戦死				二〇、八、一八 島守より上陸より上陸せる「ナン」軍と交 戦二名戦死
古守島長永山(大平山)に 戦死 二〇、一、二二、三〇 イアン地帯第八二戦容 主力「ヌー」チャン地帯	岩永正少尉戦死大隊へ主力 作業一七大隊を編入 (一〇、一八大隊)に 一〇、六、大泊経由尼海戦 容死した戦容	古守島長永山(大平山)に戦死 二〇、一、二二、三〇イアン地 帯第八二戦容主力「ヌー」チ ャン地帯		入島時より上陸より上陸せる「ナン」軍と交 戦二名戦死 大守島長永山(大平山)に戦死 二〇、一、二二、三〇イアン地 帯第八二戦容主力「ヌー」チ ャン地帯
58	68			182

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0325
0326
0327
0328

全般概要		所属	
轉入 十九年以降		第五方面軍	
轉出 十九年以降		部隊名 第九一師團司令部 (4)	
員人制編		通稱號 先一二六四〇	
別隊		郵便所名	
隊長名 ()内は先代を示す 少尉 深見		駐屯地	
隊別 第四特殊監視隊		戦間 戦時	
60		戦間 戦時	
島 筵 嶺		戦間 戦時	
戦闘間の状況及損耗		戦間 戦時	
終戦後の人員變動		戦間 戦時	
作業大隊より 入ソノ迄の變動		戦間 戦時	
入ソノ人員		戦間 戦時	
隊別計		戦間 戦時	
満洲残留		戦間 戦時	
收		戦間 戦時	

		員人訓編	
	隊視監殊特四第	別 隊	
		隊長名 (内は先代を示す) 少尉 深見	
	60	戦時 人員	
		駐屯地	
	島 筵 幌	戦時 人員	
		戦斗間の状況及損耗	
		終戦後の人員變動	
		作業大隊より 入ソソ迄の變動	
		入ソソ人員	
		隊別 計	
		満洲 残留	
		収容所名	
		収容所	
		死 者	
		満洲 より ソソ 領 計	
		歸還人員	
		者 数	
		状況不明	

部隊名 第九一師團司令部 (4) 通稱號 先一二六四〇

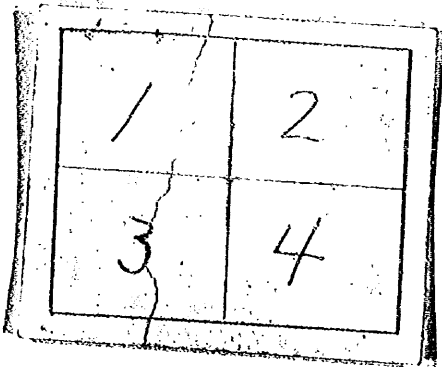
郵便所名

第 四 等 殊 産 品 視 察

60

第 四 等

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0329 第五方面軍第九一師團 部隊名 步兵第七三旅團司令部 通稱號 先一二六七三 郵便所名

0331 0332	全般概要	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	員入訓編	部 器 兵	部 理 經	部 報 情 戰 作	部 宣 副	別 隊	隊長名 ()内は先代を不示 長少將 松野 巖	戦間 時 平 時 戦 時	駐 屯 地	戦斗間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソ迄の變動	入ソ人員 除別 計	滿洲 殘留		
	<p>並圖は千歳空より大観望に 戰鬥司令塔を移し作戰指導 に在り。</p> <p>二〇、八、二三 古守島三好野飛行場に於て 空隊、將校大隊及作業隊五 第十五大隊を編成す。</p> <p>二〇、一、二〇 古守島出發</p> <p>二〇、一、二三 ナナヤカ上陸</p> <p>二〇、二、一〇 「シオン」第十二夜探 探偵隊等</p> <p>二一、四、一 「アルチカム」第六收容所 將校大隊編入三〇名</p>				90		中尉 赤松福三		中尉 小澤久吉			島 守 占 島 守 占 島 登 千	<p>二〇、八、八一 戰鬥開始大観望に轉進 二〇、八、一九 旭嶺附近に轉進 二〇、八、一九夕刻 一三七高地に轉進此の間作戰指導に在り</p>			<p>二〇、九、五 將校大隊 作業五大隊 七〇 作業十五大隊 一〇〇を編成す 第十五大隊約一〇〇名 二〇、二、一四 ナナヤカ空 二〇、二、一〇 シオン 第十二夜探 二一、四、一アルチカム第六</p>	<p>同右</p> <p>同右</p> <p>同右</p> <p>同右</p> <p>同右</p> <p>同右</p>	270 名	

隊名 歩兵第七三旅團司令部

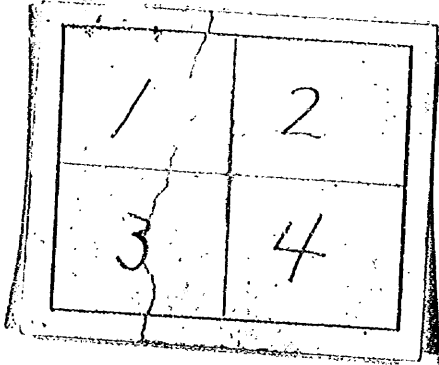
通稱號 先一二六七三

郵便所名

器	兵	部	理	部	報	情	戰	作	部	官	副	別	隊
			中尉 赤松福三									隊長名 (内は先代を示す) 長少將 松野 巖	
			270									開入 戦時員	
	右 同		右 同									駐屯地 平時	島 守 占
	上 同		上 同									戦時	島 守 占 千 歳 臺
	同 右		同 右									戦闘中の状況及損耗	二〇、八、八一 二〇、八、一九 二〇、八、一九夕刻 一二七高地に砲連此の間作戦指導下在す
												終戦後の人員變動	
	同 右		同 右									作業大隊より 入ソ運の變動	二〇、九、五 將校大隊 作業五大隊 七〇 作業十五大隊 一〇〇を編成 す 第十五大隊約一〇〇は、 二〇、一二、四 ナボトカ塔 二〇、一二、一〇 シノトフ 第十二夜探 二、一四、一アルヂキム第六
												隊別 計	入ソ人員 計
												滿洲 殘留	
												收容 所名	
												所入 死亡	
												滿洲 より 領 計	歸還人員 計
												者 数	状況不明

部 器 兵	部 理 産	部 報 情 戦 作	専 任 監
	中尉 赤松福三	中尉 小澤久吉	
	270		
右 同	右 同	上 同	警 守 長
上 同	上 同	右 同	警 守 長
同 右	同 右	同 右	警 守 長 二〇、八、一六 地 務 課 長 二〇、八、一六 二〇、八、一六 二〇、八、一六
同 右	同 右	同 右	警 守 長 二〇、八、一六 警 守 長 二〇、八、一六 警 守 長 二〇、八、一六 警 守 長 二〇、八、一六
		270 名	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0333 第五方面軍第九一師團 部隊名獨立歩兵第二八二大隊 (一) 通稱號先一二六八二 郵便所名

0335
0336

全般概要		轉入	轉出	員人制編	別除	隊長名	關人	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ返の變動	隊別計	滿洲殘留
<p>二〇、八、一八日 「一」軍占守島嶼嶺上端 に方つては鐵門等四基山頂 北の麓を占領して激戦主力 二〇、八、二三占守好 野行場に於て式解</p> <p>二〇、一〇 空襲被害に遭給</p> <p>二〇、一〇 上海陸軍大隊に分隊労働 大隊編成 長中尉長志一 善後大隊 長櫻井大尉</p> <p>二〇、一〇 兵大隊入ソ</p> <p>二〇、一〇 善後大隊編成</p> <p>二〇、一〇、一七 「ナホトカ」上陸現在「ラ イグ」エラプカ一及び終 戦「ラチナル」に在り</p> <p>損傷 戦死 一五〇 負傷 七〇〇八〇</p>		十九年以降	十九年以降			隊長名 ()内は先代を示す 長少佐 村上 則重	關人 時員	駐屯地 平時 島守占 戰時 同(端上)	戰鬥間の狀況及損耗 二〇、八、一八 國嶺附近に於てソ軍と交戦激戦を極め損傷 相當大なる損傷戦死約七〇隊隊として歸隊 一〇死四五	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソ返の變動 作業第五大隊 長中尉 二〇〇〇名 (獨歩第二八二大隊八〇〇)	隊別計	滿洲殘留
中 三 第 隊	中 二 第 隊	中 一 第 隊	部 本	858		中尉 太田 正郎	50	島守占	同右				
中尉 黒木 松雄 1 中尉 田中 2 少尉 片桐 3 中尉 櫻井 4 MG 准尉 井上	中尉 玉村	中尉 太田 正郎		135	同右	同右	同右	同右	同右	同右			
160	160	50											
106	160	110											
656													

中	三	第	隊	中	二	第	隊	中	一	第	部	本	員人制編
													別 隊
													隊長名 (内は先代を示す)
													長少佐 村上 則重
135				160				160					戦 闘 人 時 員
													駐 屯 地
													平 時 駐 屯 地 時 間 数 時
													戦 闘 間 の 状 況 及 損 耗
													二〇、八二八 國境附近に於てソ軍と交戦し戦果を極め損害 相當大なる戦死者約七〇部隊として離隊 一〇死四五
													終 戦 後 の 人 員 變 動
													作業大隊より 入ソ返の變動 作業第五大隊 長中尉 二〇〇〇名 (歩兵第一八二大隊八〇〇)
106				160				110					入ソ人員
													隊 別 計
													滿 洲 残 留
													收 容 所
													收 容 所 名
													所 入 死 亡
													滿 洲 領 土 以 外 領 土 計
													歸 還 人 員 計
													狀 況 不 明 者 数

隊名獨立歩兵第二八二大隊 (一) 通稱號先一二六八二 郵便所名

部	隊 中 一 第	隊 中 二 第	隊 中 三 第	隊 中 四 第				
	中尉 太田 正郎	中尉 玉村	中尉 黒木 松雄 1 中尉 田中 2 少尉 片桐 3 中尉 櫻井 4 M.G. 准尉 井上	中尉 森 育郎				
50	160	160	135	140				
島 守 吉	右 同	右 同	右 同	右 同				
正 瓦 (端 瓦)	右 同	右 同	右 同					
同 右 同 右 同 右	同 右	同 右	同 右					
110	160	160	106	160				

SANKEN
東京大学
1000番
(昭和21年2月28日)

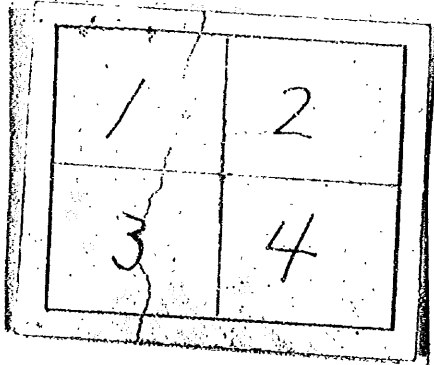
二〇、一〇〇
支隊司令部に到着
二〇、一〇〇
大隊司令官に到着
長中尉隊長
二〇、一〇〇
大隊司令官に到着
長中尉隊長
二〇、一〇〇
大隊司令官に到着
長中尉隊長

二〇、一〇〇
大隊司令官に到着
長中尉隊長
二〇、一〇〇
大隊司令官に到着
長中尉隊長
二〇、一〇〇
大隊司令官に到着
長中尉隊長

損耗 戦死 一五〇
負傷 七〇〇八〇

隊 中 四 第	隊 中 三 第	隊 中 二 第	隊 中 一 第	部 六
中尉 森 育郎	1 中尉 黒木 松雄 2 少尉 田中 3 中尉 櫻井 4 MG准尉 井上	中尉 玉村	中尉 太田 正郎	
100	135	160	160	50
	右 同	右 同	右 同	島 守 吉
	右 同	右 同	右 同	二 同 (端 頭)
	同 右 近衛附近の戦斗に参加 入院九 生死不明四	同 右	同 右	二〇、五、一八 近衛附近の戦斗に参加 大尉 〇、五、一八 〇、五、一八 〇、五、一八
	築地港行軍の途下 死亡二一、入院八			築地港行軍の途下 死亡二一、入院八
160	106	160	110	二〇、五、一八 近衛附近の戦斗に参加 大尉 〇、五、一八 〇、五、一八 〇、五、一八
		656		

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0337
0338
0339
0340

全般概要		属所	
十九年以降	十九年以降	第五方面軍第九一師團 部隊名 獨立歩兵第二八二大隊(二) 通稱號 先一二六八二	
員入制編	別 隊	郵便所名	
858	隊中砲野 (欠小砲一)	隊中砲白 (欠小砲一)	隊中砲兵歩
	中尉 浪本		隊長名 (内は先代を不示す)
	戦 闘 人	120	駐屯地
	平 時 戦 時		戰鬥間の状況及損耗
			終戦後の人員變動
			作業大隊より 入ソ迄の變動
		120	隊別 入ソ人員
			滿洲残留
			取

野砲中隊 (欠小一)		臼砲中隊 (欠小一)		歩兵砲中隊		別隊
						隊長名 (内は先代を示す)
					120	戦時人員
						平時人員
						戦時人員
						駐屯地
						戦闘間の状況及損耗
						終戦後の人員變動
						作業大隊より 入ソ迄の變動
					120	入ソ人員
						隊別計
						滿洲殘留
						收容所名
						收容所
						死亡
						滿洲より ソ領より
						歸還人員計
						者数
						状況不明

中隊名 獨立歩兵第二八二大隊(二) 通稱號 先一二六八二 郵便所名

858

隊 中 砲 野
(次 小 一)

隊 中 砲 白
(次 小 一)

隊 中 砲 兵 歩

120

120

隊 中 砲 野
(欠 小 一)

隊 中 砲 白
(欠 小 一)

隊 中 砲 兵 歩

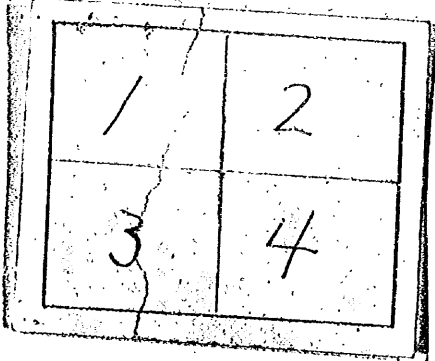
中
本

120

中
本

120

分割撮影ターゲット

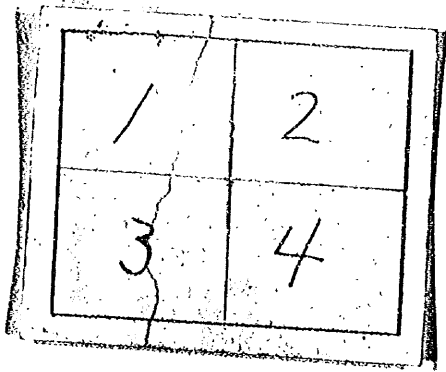
分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

隊名	別隊	部	第一隊中	第二隊中	第三隊中
獨立歩兵第二八三大隊	隊長名 (内は先代を不)	長少佐 竹下美代二	中尉 西川 清	中尉 中川 勇吉	中尉 中福 恒三
(1) 通稱號	隊員	52	143	146	138
駐屯地	平時	島守占	右同	右同	右同
戦時	戦時	上同	上同	上同	上同
戦闘間の状況及損耗	戦後	主力を占守線南端島嶼附近に置き各々有力なる一部を南島の要地に配置し持久戦の態勢をとつた 八、一八 一三〇〇級攻撃を加へつゝ占守島谷田濱に上陸す 後援攻撃死五〇負傷七〇	同右	占守島附近の陣地を占領せられたに任じ(一九五五) 其後二十五師團變更より、三峯山附近の陣地を占領八、八以降「ソ」一連機來襲す 八、一八 砲撃の後小艇等に上陸す中隊に此の攻撃遂の爲出陣す 我方の損害 戦死八 負傷七 其他なし	同右
終戦後の人員變動	入「ソ」迄の變動	主力は「カムチャツカ」方面に移送され、一部は樺太に送らる 八、一 大泊着	同右	八、二三 於三好野飛行場式裝解除 同右 一、二、三 將校大隊乗船長船出航 二、一、一、一七 「ナホトカ」上陸 一九 同地發 二四 同地發 二四 同地發 二四 同地發 四、二四 ライダー着 七、一八 同地出發 二五、ニラフカ着	同右
作業大隊より入「ソ」人員	隊別				
入「ソ」人員	計			695	
滿洲殘留	收容所名				
收容所	收容所名				
歸還人員	死亡				
狀況不明者數	滿洲「ソ」領より計				
	者數				

隊名 獨立歩兵第二八三大隊 (1) 通稱號 先一二六八三 郵便所名

<p>130</p>				
<p>135</p>				
<p>858 (戦死60 残77 負傷100)</p>				
隊中四第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部
<p>中尉 久保 政治 中尉 野村 秀男</p>	<p>中尉 中福 恒三</p>	<p>中尉 中川 勇吉</p>	<p>中尉 西川 清</p>	<p>長少佐 竹下 義之助</p>
141	138	146	143	52
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
上 同	上 同	上 同	上 同	上 同
同右	同右	<p>古守島附近の陣地を占領せしむ (一九五五) 其後二十五師団に渡り、三塚山附近の陣地を占領し、八以降「ソ」連隊を襲撃し、八、一八 砲撃の後小隊をたて、隊中隊は此の攻撃遂の爲に出陣す 隊方の損害 戦死八、負傷七、其他なし</p>	同右	<p>古守島附近の陣地を占領せしむ (一九五五) 其後二十五師団に渡り、三塚山附近の陣地を占領し、八以降「ソ」連隊を襲撃し、八、一八 砲撃の後小隊をたて、隊中隊は此の攻撃遂の爲に出陣す 隊方の損害 戦死八、負傷七、其他なし</p>
				<p>八、二二 於三好野飛行場式裝解除</p>
同右	同右	<p>同右 將校大隊乗組員船出航 一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇</p>	同右	<p>八、一 大田 隆 八、二 大田 隆</p>
				<p>695</p>

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0345
0346
0347
0348

全般概要		属所	
轉入 十九年以降		第五方面軍 第九一師團 部隊名	
轉出 十九年以降		獨立歩兵第二八三大隊 (2)	
員人組織		通稱號 先一二六八三	
隊別		郵便所名	
隊長名 ()内は先代を不す 中尉 菊池 信孝			
隊中砲兵歩		戰鬥間の狀況及損耗	
115		終戦後の人員變動	
島守占		作業大隊より 入「ソ」迄の變動	
右 同		隊別	
		入「ソ」人員	
		滿洲殘留	
		收	

				員人別編
隊中砲兵歩				別 隊
				隊長名 (内は先代を示す) 中尉 菊池 信孝
115				戦 闘 人 時 辰
島 守 占				駐 屯 地 平 時
右 同				戦 時
戦闘間の状況及損耗				
終戦後の人員變動				
作業大隊より 入「ソ」迄の變動				
				入「ソ」人員 除 別 計
滿洲殘留				
				收 容 所 名
				所 入 死 亡
				滿洲「ソ」領 より
				計
				者 數 狀 況 不 明

部隊名 獨立歩兵第二八三大隊 (2) 通稱號 先一一二六八三 郵便所名

少兵砲中隊

信
地
誌

115

出

有

115

一 島 守 氏

右 記